

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第10回)

●「ESTには3Tが重要」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 平石 浩之】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第10回)

●「神戸都心地域におけるESTの取り組みー神戸らしい環境に気がついたらおしゃべりな生活ー」

【神戸市企画調整局調査室主査 大澤 保次】

3. ニュース／トピック

●ESTポータルサイトにESTデータベースを公開、リンク集も拡充

【EST普及推進委員会事務局】

●地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が成立【国土交通省】

●新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会を開催【国土交通省】

●ドニチエコきつぷ売り上げ快走【名古屋市交通局】

●奥日光の湿原に低公害バスが運行開始【日光交通】

●交通政策審議会交通体系分科会第12回環境部会を開催【国土交通省】

●平成19年度民生部門等地球温暖化対策実証モデル評価事業(公共交通利用型のモデル事業・FS事業)の推薦決定について【国土交通省】

●平成19年度グリーン物流パートナーシップ推進事業(ソフト支援事業、モデル事業)の推進決定について【国土交通省、経済産業省】

●「全国都市交通特性調査」の調査結果について【国土交通省】

●DVD「エコドライブ10のすすめ」の制作及び貸出しについて【環境省】

4. イベント情報

●エコカーワールド2007～低公害車フェア～

●2007夏LRTフォーラム「ヨコハマの環境と観光を考える～富山の先進事例に学ぶ～」

●国立環境研究所公開シンポジウム2007「未来を拓く環境研究ー持続可能な社会をつくるー」

●できるエコ！DECOスクール「クルマ社会とエコアクションのつながりを学ぼう」

●国際シンポジウム「環境共生社会の交通 ～持続可能な交通まちづくり」

●環境にやさしい交通まちづくり国際シンポジウム

●第二回日本モビリティ・マネジメント会議

●地球環境大学「脱！温暖化生活」ー交通編「クルマで移動はもったいない！エコ交通の秘訣」

5. その他

- 交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集
- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第10回)

- 「EST には3T が重要」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 平石 浩之】
(株式会社日本能率協会総合研究所社会環境研究本部主任研究員)

EST を実効性あるものとするには、2種類の3T が重要でないでしょうか。

1種類目は「創る、使う、努める」のローマ字書きの頭文字を取っての3T。2種類目は「Traffic(自動車交通)、Transportation(公共輸送)、Travel(または Trip: 人の移動)」の頭文字からなる3T です。

【創る】敢えて「作る」でも「造る」でも無く、常用外の表現は、EST においては、戦略的な発想で、実現したい地域像を創造しながら、必要とされるインフラなどを導入、改良していくことです。新設により自動車利用からの転換、さらに高齢者の方の外出を新たに創出しつつある富山市のライトレール整備などがこの例にあたります。

【使う】既にある交通インフラを環境的にバランス良く最大限に使う、または低燃費車などを積極的に導入して使う点となります。前者は信号制御や交通運用の高度化、歩行者重視のための車両進入規制などを導入する点などが該当します。また後者は、バイオディーゼルや電気自動車の利用、鉄道における省エネ車両の採用なども該当します。

【努める】市民や企業、行政の方が自ら地球温暖化対策となる努力を行っていく点が該当します。モビリティ・マネジメントや、各種のまちづくり協定なども該当します。

2種類目の3T の詳細は割愛しますが、英語における狭義の意味で各交通手段を表すもので、これらがバランス良く用いられることが必要となります。

国内での EST はまだ萌芽期ですが、地球温暖化対策の本格的な国内普及に併せ、これら3T が相互に協調、連携して、効果を発現することを期待します。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第10回)

- 「神戸都心地域におけるESTの取り組みー神戸らしい環境に気がついたおしゃれな生活ー」

【神戸市企画調整局調査室主査 大澤 保次】

神戸市では、エコファミリー制度やエコショッピング制度による公共交通への利用転換を目的とした「エコモーション神戸」(<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/54/eco-motion/top.htm>)の取り組みを進めてきました。今回これを継続発展させるべく国土交通省の EST モデル事業

の選定を受け、平成17年度より「神戸市EST推進協議会」を設置し「神戸の都心地域における環境的に持続可能な交通体系の確立(神戸EST)」に向け、3ヶ年計画で取り組んでいます。

「歩いても楽しい魅力的な都心」「誰にでも優しい公共交通」「クルマに依存しなくてもすむ仕掛け」「次世代の担い手の育成」といった4つの基本方向の基に、「ちょい乗り交通」の検討、KOBEPiTaPa(ICカード)を活用したエコショッピング等のシステム化、交通まちづくりフォーラムKOBEPiTaPaの開催など各施策の連携を図ります。さらに個々の施策を順序だてて実現化していくサイクルを繰り返すといったスパイラルアップによって神戸ESTの実現を目指します。

神戸EST実現の最初の一步として、今秋に神戸都心で交通社会実験を実施します。気軽に乗れる「ちょい乗りバス」を運行するとともに「ICカードとの連携」「駐車場との連携」「商業者によるおもてなし運動との連携」を図り、今後の施策の推進にとって貴重なデータを収集するとともに、市民の方々とESTの重要性への理解を深める予定です。この実験が、クルマをやめて、気軽に公共交通を利用する行動こそが、『神戸らしい環境に気がついたおしゃべりな生活』であることに気づいていただく切っ掛けになればと願っています。

3. ニュース／トピック

●ESTポータルサイトにESTデータベースを公開、リンク集も拡充

【EST普及推進委員会事務局】

ESTポータルサイト上に、ESTの内外の先進事例を紹介したESTデータベースを掲載しました。また、ESTリンク集を拡充し、交通と環境に関連した内外のウェブサイト200件以上のリンク情報を掲載しました。EST関連の取組みにお役立て下さい。

<http://www.estfukyu.jp/>

●地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が成立【国土交通省】

公共交通の再生を図る地域公共交通活性化法が18日午前の参院本会議で可決、成立しました。市町村が事業者らと協力して総合連携計画を作成できるようにし、赤字鉄道の再生、乗り継ぎの改善などを対象に国が予算の重点配分などで支援します。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010209_2_.html

●新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会を開催【国土交通省】

国土交通省と警察庁は自転車の通行エリアなどを検討する有識者懇談会を発足し、18日に初会合を開きました。自転車道など、自転車や歩行者の安全を確保するための具体策を盛り込んだ通行エリア整備のガイドラインを自治体など向けにまとめる予定です。

https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060515_.html

●ドニチエコきっぷ売り上げ快走【名古屋市交通局】

名古屋市営地下鉄とバスの1日割引券「ドニチエコきっぷ」が、発売後1年で240万枚という好調な売り上げを記録しています。市交通局は、普段マイカーを利用している人が、公共交通機関を利用するきっかけになっていると分析しています。

http://www.kotsu.city.nagoya.jp/ticket/weekend_ticket.html

●奥日光の湿原に低公害バスが運行開始【日光交通】

奥日光の湿原の大気汚染を防ぐ低公害バスが、4月26日から運行を再開しました。昨年11月末の冬季閉鎖から5カ月ぶり。3台の大型バスが戦場ヶ原・赤沼から小田代ヶ原を経て中禅寺湖西岸の千手ヶ浜までの約10キロを、休日13往復、平日は7往復します。

<http://www7.ocn.ne.jp/~nikko/hy-bus.htm>

●交通政策審議会交通体系分科会第12回環境部会を開催【国土交通省】

国土交通省は交通政策審議会交通体系分科会第12回環境部会を8日に開催しました。来年3月の京都議定書目標達成計画の見直しに向けて、運輸部門の対策・施策の進捗状況、CO2削減量の暫定評価、新しい視座と今後の方向性について検討しました。

<http://www.mlit.go.jp/singikai/koutusin/koutu/kankyuu/12/070508.html>

●平成19年度民生部門等地球温暖化対策実証モデル評価事業（公共交通利用型のモデル事業・FS事業）の推薦決定について【国土交通省】

国土交通省は18日に公共交通利用推進等マネジメント協議会を開催し、NEDOが3月より募集を行っている平成19年度民生部門等地球温暖化対策実証モデル評価事業の応募案件を審査しました。審査の結果、自家用自動車の使用を抑制し公共交通機関への転換・利用を促進するためのモデル事業、FS事業を13件推薦することとしました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010518_2_.html

●平成19年度グリーン物流パートナーシップ推進事業（ソフト支援事業、モデル事業）の推進決定について【国土交通省、経済産業省】

グリーン物流パートナーシップ会議は14日、平成19年度に行う荷主企業と物流事業者が協働して取り組むグリーン物流推進補助金の提案（ソフト支援事業、モデル事業、普及事業）について審査した結果、11件について推進決定としました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/15/150514_.html

<http://www.meti.go.jp/press/20070514003/20070514003.html>

●「全国都市交通特性調査」の調査結果について【国土交通省】

国土交通省は、全国都市交通特性調査を実施し、結果の概要を公表しました。調査の結果、市街地の人口密度が高いと、自動車の利用率が低く、公共交通の利用率が高くな

ることが分かりました。今後、都市交通におけるエネルギー消費や CO2 排出等の様々な分析を行い、併せて公表していく予定です。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/04/040522_.html

●DVD「エコドライブ10のすすめ」の制作及び貸出しについて【環境省】

環境省では、「エコドライブ10のすすめ」を分かりやすく説明した DVD を作成しました。本 DVD の内容については、後日、「チーム・マイナス6%」のホームページより公開予定です。希望する団体に対しては、貸出しを行います。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8388>

4. イベント情報

●エコカーワールド 2007～低公害車フェア～

日時:2007年6月2日(土)、6月3日(日)

場所:横浜赤レンガ倉庫広場等(野外オープンスペース)

主催:環境省、独立行政法人 環境再生保全機構、横浜市

<http://www.erca.go.jp/ecocarworld2007/>

●2007 夏 LRT フォーラム「ヨコハマの環境と観光を考える～富山の先進事例に学ぶ～」

日時:2007年6月9日(土)13:30～16:45

場所:横浜市開港記念会館 6号室

主催:横浜にLRTを走らせる会

<http://lrt.cocolog-nifty.com/yokohama/>

●国立環境研究所公開シンポジウム 2007「未来を拓く環境研究－持続可能な社会をつくる－」

日時:2007年6月16日(土)12:00～17:00

場所:京都産業会館 8階京都シルクホール

日時:2007年6月24日(日)12:00～17:00

場所:メルパルク東京 東京メルパルクホール

主催:独立行政法人国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/sympo/2007/index.html>

●できるエコ! DECOスクール「クルマ社会とエコアクションのつながりを学ぼう」

日時:2007年6月17日(日)10:00～16:00

場所:産業技術記念館

主催:株式会社デンソー

http://www.denso.co.jp/SOCIAL/event/2007/05_1.html

●国際シンポジウム「環境共生社会の交通 ～持続可能な交通まちづくり」

日時:2007年7月6日(金)12:30~17:10

場所:東洋大学 井上円了記念ホール

主催:東洋大学国際共生社会研究センター

<http://jsce.jp/article.pl?sid=07/05/25/0036235&mode=nested>

●環境にやさしい交通まちづくり国際シンポジウム

日時:2007年7月9日(月)13:30~17:00

場所:JA あいち豊田 ふれあいホール

主催:(財)豊田都市交通研究所

<http://www.ttri.or.jp/work/seminar.html>

●第二回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2007年7月27日(金)~7月28日(土)

場所:北海道札幌市 札幌コンベンションセンター

主催:(社)土木学会、国土交通省(予定)

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/top.html>

●地球環境大学「脱!温暖化生活」-交通編「クルマで移動はもったいない!エコ交通の秘訣」

日時:2007年9月8日(土)13:30~16:30

場所:大阪歴史博物館(予定)

主催:特定非営利活動法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)

<http://www.bnet.ne.jp/casa/katudou/chikandai/chikandai15/chikandai15.htm>

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集

交通エコロジー・モビリティ財団では、財団のシンボルマーク及びイメージキャラクターの募集を来月から開始します。詳細は6月1日以降、財団のホームページ(<http://www.ecomo.or.jp>)に掲載します。たくさんのご応募をお待ちしています。

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

=====

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局
（交通エコロジー・モビリティ財団）

E-mail：EST@ecomoto.or.jp

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>